

年頭のごあいさつ



(公財)
沖縄県交通安全協会連合会
会長 安里 昌利

新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様方には、ご家族共々清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年中は、沖縄県交通安全協会連合会の運営に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。

また、各地区交通安全協会の皆様をはじめ地域のボランティアや関係機関・団体の皆様方には地域における交通安全活動の各般にわたり献身的なご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、令和2年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種イベントの開催が自粛される中、当連合会においても例年開催してきました「交通安全子供自転車大会」や「高齢者交通事故防止リーダー研修」の中止や交通安全にご尽力された個人・団体及び優良運転者の表彰につきましても、式典を取り止め伝達という方法で実施しております。

さて、昨年は第11次沖縄県交通安全基本計画（令和3年度～令和7年度）が新たに策定された年となり、同計画に示された「令和7年までに年間の交通事故死者数を26人以下にする」という目標達成に向け、当連合会や各地区交通安全協会においても、県警察、関係機関・団体等と連携して交通安全運動や広報啓発活動に取り組んで参りました。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした国や県の緊急事態宣言による観光客の減少や県民等が外出を控えたことで交通量が減少したことに加えて、コロナ禍においても関係機関・団体が連携して交通安全対策を推進した結果、事故の発生件数は減少しております。

しかし、本年10月県の緊急事態宣言解除に伴って飲酒運転検挙者が増加傾向にあることや、飲酒絡みの事故構成率が10月末現在の速報値では全事故で全国1番目、死亡事故で3番目と全国上位になっていることから、飲酒絡みの事故の増加が懸念されるところであります。

このような県内の交通情勢を踏まえ、当連合会といたしましては、「飲酒運転根絶」活動をはじめ「日本一交通安全な沖縄県」の実現に向け、本年も職員一同、関係機関と連携した交通安全意識の高揚にお一層取り組んでいく所存でありますので、県民の皆様ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年の御挨拶と致します。



沖縄県警察
本部長 日下 真一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素から、交通安全活動を始め警察行政各般にわたり深い御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、令和2年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大により様々な活動が制限される中、県警察と沖縄県交通安全協会連合会、各地区交通安全協会を始め、関係機関、団体、交通ボランティア等が連携し、感染症対策を講じながら創意工夫を凝らした取組により、交通事故抑止対策について一定の成果を上げることができました。

その一方で、昨年2月、浦添市内において中央分離帯を突破した大型ダンプが対向車両を巻き込み親子が亡くなるという死亡事故が発生したほか、県外においては、昨年6月、飲酒運転のトラックが下校途中の児童の列に突っ込み5人が死傷する大変痛ましい事故が発生しました。

また長年にわたり、本県の大きな社会問題の一つとなっている飲酒運転につきましては、各種対策の結果、確実に減少傾向にあるものの、未だ飲酒運転で検挙される者は後を絶たず、飲酒絡み人身事故の構成率も全国上位に位置するなど、依然として憂慮すべき状況が続いております。

なお、本年4月1日から施行予定の道路交通法施行規則一部改正案では、安全運転管理者選任事業所におかれている安全運転管理者の責務に、アルコール検知器を使用した業務前後点検等を行うことが盛り込まれ、全国で飲酒運転根絶のための取組強化が図られることとなっております。

県警察といたしましては、今後とも、重大事故に直結する飲酒運転や悪質・危険な違反に対する交通違反取締りを一層強化するとともに、関係機関、団体等と緊密に連携し、安全で円滑な道路交通環境の構築のための取組を推進していくこととしています。

県民の皆様におかれましては、「交通ルールの遵守」と「正しい交通マナーの実践」に加え、「飲酒運転は犯罪」であることを強く認識していただくとともに、「飲酒運転はしない・させない・許さない」運動を家庭や職場などで徹底させ、「日本一交通安全な沖縄県」を実現させるため、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、県民の皆様のみずみずの御健勝、御多幸を心から祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。